

経営する心  
経営する技術  
経営する数字  
この三位一体が成功する経営だ

大企業・製造業の景況は2期連続のプラス、10ポイントの大幅改善。同・非製造業は4ポイント改善のマイナス9。先行き判断は慎重

大企業の業況判断指数〔「良い」から「悪い」とする割合を差し引いた値〕は、製造業が9月調査より10ポイント改善のプラス11で、97年6月のプラス13以来の高水準。非製造業はマイナス水準ながら4ポイントの改善をみた。

3月の先行きは、製造業は3ポイント下落のプラス8と慎重な判断に対して、非製造業は2ポイント改善のマイナス7を予測している。

新春によせて

(株)中央税法総合研究所  
所長 茂木健次



新年明けましておめでとうございます。

皆様には長期にわたるデフレ不況に耐えながらも、今年の経営計画をどのように実現させていくか、その決意も新たに新春をお迎えのことと拝察いたしております。

私共、中央税法総合研究所グループの業務につきましては、日頃から格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も中小企業にとって厳しい経営環境が続くものと思いますが、中央総研では関係先企業の新たな価値創造とビジネスベネフィット創出に貢献するため、スタッフの充実と業務体制の刷新を図り、より有益なサービスと税務・経営情報の提供に所員一同さらに万全を期す所存です。

さて、1990年代以降の日本を「失われた10年」と表現されますが、ようやく長期低迷の底を抜け出し、大企業の製造業を中心にした景気に薄日が差し始めたようにも感じられますが、今回の景気回復の特色は、これまでのような財政出動がない中で、企業のリストラと外需によるものです。事実、12月の日銀短観〔次頁に詳報〕の大企業の「売上と収益計画」をみますと、「売上」はさほど増えずに「利益」が回復したことで明らかです。

問題はリストラによるマイナス効果が中小企業や地方に及ぼす影響で、景況感も大企業と中小企業とではいぜんとして大きな格差がそれを証明しています。その上で、「イラク問題」をはじめとして年金、財政、金融など日本が抱える課題は山積みです。足利銀行の破綻一つをとっても実態を知らぬままに第三者割当増資に応じた地元企業や地方自治体(税金)の728億円の損失はもちろん、栃木県内や東毛地区の中小企業にとって相当の痛手です。

ところで、私は経営とは職業を通して「自己を習う」ことだと思っています。「自己を習う」とは、すなわち自分の職業を通して経営理念を実践し、実現し、進化と向上の中に生き、創造と順応をし続けることだと思っています。そしてそれが「お客さまのためになる」ということです。そしてそのようなときこそ、自分とお客さまの間には一線の区切りもない、自分とお客さまとは「一如」になっていると思うのです。

「経営する心、経営する技術、経営するための数値」の三位一体を極める努力によって、初めて不況を克服し、真の回復を勝ちとることができると、確信しております。

この一年、皆様の一層のご健闘とご繁栄を祈念して年頭のご挨拶といたします。

業種別の景況判断

製造業は表の通り9月調査時に比べてマイナスの業種は8から3業種に減少し、「造船・重機」を除く全業種が改善している。特に加工業種に比べて素材業種の改善が目立ち、アジア向け輸出好調の非鉄金属が45ポイントと急速な回復をみている。

加工業種では金属製品が21ポイントと大幅に改善したほか、精密機械、電気機械、自動車の改善度も高い。

一方、非製造業は建設、通信を除く全業種が改善しているが、リース、電気・ガスの改善度が高い。消費関連では卸が12ポイント改善してプラス16に対して小売は横這いのマイナス13であった。

3月の先行きは製造業が3ポイント低下の8を予測し、繊維など4業種以外は再び慎重な姿勢になっている。非製造業は2ポイント改善を予測する中で小売が8ポイント回復のマイナス5。通信、リースは11ポイントの大幅な下落を予測している。

設備投資計画

景気をけん引する03年度の設備投資額は、製造業が前年度比11.1%の二桁増、非製造業は同1.6%の微増。全産業で同5.2%増加を計画。

売上と収益計画

03年度の売上計画は、前年度に比べて製造業がマイナス0.3%、非製造業もマイナス1.4%の減少を見込んでいる反面、03年度の経常利益計画は製造業が14.1%の大幅増、非製造業は2.8%の増益をそれぞれ見込んでいる。

大企業の景況判断			
業種	2003年~2004年		
	9月	12月	3月予測
製造業	1	11	8
繊維	34	14	3
木材木製品	11	11	11
紙・パルプ	21	29	29
化学	6	13	9
石油・石炭	29	0	15
窯業・土石	22	13	13
鉄鋼	15	27	23
非鉄金属	35	10	0
食料品	0	2	6
金属製品	7	14	7
一般機械	15	19	19
電気機械	5	7	8
造船・重機	40	60	40
自動車	24	35	26
精密機械	0	15	4
非製造業	13	9	7
建設	26	29	25
不動産	20	20	20
卸売	4	16	13
小売	14	13	5
運輸	17	9	15
通信	40	22	11
電気・ガス	6	12	12
サービス	17	11	9
リース	11	11	0
大企業 1,365社 回答率 99.2%			

## 日銀短観 中小企業の景況と動向

### 中小企業・製造業、非製造業の景況判断も改善したが、いぜん大企業との格差大

製造業は9月調査より10ポイント改善のマイナス13。非製造業も3ポイント改善のマイナス28になったが、3月の予測は製造業が2ポイント低下してマイナス15。非製造業も1ポイント低下のマイナス29を見込んでいる。

	選択肢別社数構成比%			
	製造業		非製造業	
	9月	12月	9月	12月
よい	12	16	7	8
さほど良くない	53	55	55	56
悪い	35	29	38	36
よい-悪い(指数)	23	13	31	28

#### 業種別の景況判断

製造業全体では9月調査に比べて「よい」とする企業の割合が増加し、殆どの業種が改善傾向にあるが依然として大企業との格差は鮮明である。今回調査では業績好調の自動車のほか、マイナス水準ながら情報関連の電気機械や一般機械、金属製品が大幅な改善をみた。素材関連は非鉄金属が13ポイント改善し徐々にプラス9に浮上した。

先行きは繊維を除く殆どの業種が慎重な姿勢で全体では2ポイント低下のマイナス15を予測。

一方、非製造業全体では、「よい」とする企業割合が78の微増。景況判断指数も3ポイント改善のマイナス28に戻したが、通信を除く全業種が大幅なマイナスで、消費関連の小売の現状や建設の先行きも厳しい判断になっている。

**03年度の設備投資計画** 前年度に比べて製造業が1.7%の減少に対し、非製造業が1.2%増。全産業では0.5%増の計画になっている。

**03年度の売上と収益計画** 製造業の売上計画額は2.5%増、非製造業は0.1%減の計画だが、収益計画額は製造業が31.2%、非製造業が5.3%と前年度よりそれぞれ大幅な増加を見込んでおり、中小企業もリストラ効果の浸透を窺わせる計画になっている。

**雇用と資金繰り判断** 雇用過剰感は全業種で前回より2ポイント減少して過剰超9、先行きは過剰感がやや薄れて7の過剰判断になった。一方、資金繰りは「苦しい超」10と、前回より2ポイント改善したが、先行きは17とふたたび「苦しい超」の判断をしており、金融機関の貸出

業種	2003年~2004年		
	9月	12月	3月予測
	製造業	23	13
繊維	47	43	37
木材・木製品	26	17	25
紙・パルプ	22	12	13
化学	13	5	7
石油・石炭	19	15	19
窯業・土石	55	49	47
鉄鋼	9	1	11
非鉄金属	4	9	9
食料品	18	15	16
金属製品	25	13	16
一般機械	13	0	0
電気機械	25	2	7
造船・重機	35	36	36
自動車	21	22	15
精密機械	7	3	5
非製造業	31	28	29
建設	36	36	44
不動産	12	4	4
卸売	35	31	32
小売	45	44	40
運輸	28	22	24
通信	23	30	15
電気・ガス	15	4	4
サービス	23	20	22
リース	27	20	19
全国・中小企業	4,227社	回答率 979%	

し態度も「厳しい超」が現状の4から先行き7に悪化している。

## 経済指標 全国と群馬の動き

**【県内の経済動向】**大型小売店の10月売上は、既存店、新設店を含むベースでも前年を上回り、百貨店、スーパーともに衣料品、食品等が前年水準を上回った。家電量販店は10月も3か月連続で前年を上回り、デジカメ、DVD、OA機器などが好調であった。乗用車は普通車、軽乗用車が増加したが小型車は減少した。住宅は持家、貸家、分譲の着工数いずれも前年水準を上回った。11月の公共投資は、国、県、市町村の発注が減少したため5か月連続で前年を下回った。企業生産は増加している。輸出の増加や設備投資回復、家電販売の堅調などで、電気機械、一般機械のほか、素材産業でも生産水準を引き上げている。雇用は2か月連続で1倍を上回り、雇用保険受給者人員は前年を31.2%下回った。

	生産関連指数				雇用		公共投資			
	鉱工業生産指数				大口電力使用量		有効求人倍率		公共工事請負高	
	左・前月比		右・前年同月比		前年同月比				前年同月比	
	全国	群馬	全国	群馬	全国	群馬	全国	群馬		
10月	0.2	5.4	4.3	0.4	2.6	2.6	0.56	0.79	6.4	21.0
11月	1.6	5.1	1.4	4.1	4.6	1.8	0.57	0.79	8.6	3.5
12月	0.4	6.4	6.4	2.2	3.7	2.9	0.58	0.82	3.2	25.6
平成15年1月	2.1	8.1	5.3	2.8	6.7	4.8	0.60	0.87	5.5	23.8
2月	1.6	4.8	0.7	4.4	2.9	3.6	0.61	0.94	12.1	48.2
3月	0.1	4.1	1.2	1.6	3.6	4.1	0.60	0.88	15.6	14.8
4月	1.5	3	1.3	3.7	2.3	1.0	0.60	0.87	13.0	58.0
5月	2.6	1.3	2.1	5.1	1.8	2.0	0.61	0.91	16.4	33.6
6月	1.3	2.4	2.5	3.7	1.1	1.2	0.61	0.91	10.2	1.9
7月	0.5	0.3	0.6	0.9	2.9	3.9	0.62	0.92	5.1	16.1
8月	0.7	1.3	3.0	7	1	4	0.63	0.96	10.6	32.7
9月	3.8	4.1	13.2	10	1	1	0.66	1.02	6.9	14.9
10月	0.8	3.6				1	0.70	1.09	14.4	15.0
11月										38.8

	個人消費関連指標									
	乗用車登録台数(前年同月比)				大型小売店売上		家電量販店売上		新設住宅着工数	
	群馬の車種別内訳				前年同月比		前年同月比		前年同月比	
	全国	群馬	登録車	軽乗用車	全国	群馬	全国	群馬	全国	群馬
9月	13.6	17.4	4.1	8.4	0.7	3.8	2.5	1.1	5.1	7.6
10月	6.7	0.7	7.8	17.9	2.0	1.0	2.9	1.3	1.8	15.8
11月	5.7	0.4	0.6	11.1	0.1	3.9	6.5	0.7	6.7	21.3
12月	0.3	2.7	9.2	4.4	4.2	1.1	2.2	0.4	3.4	6.2
平成15年1月	4.6	7.9	8.4	5.3	2.2	2.0	0.8	1.6	1.7	16.0
2月	5.1	4.6	9.6	3.6	0.6	3.9	3.5	5.3	2.8	5.3
3月	10.2	8.1	16.0	4.1	2.7	1.1	3.0	3.0	1.9	11.4
4月	7.0	12.9	4.3	8.1	3.8	1.2		0.8	1.4	12.2
5月	0.8	5.3	4.3	8.1	3.6	0.7	4.7	0.2	7.7	12.6
6月	3.4	5.8	1.0	17.5	2.9	0.1	3.6	6.5	13.4	56.1
7月	0.7	0.6	1.8	2.8	3.9	1.2	11.3	14.9	2.6	19.2
8月	5.8	3.0	3.2	2.4	3.4	0.9	3.3	7.7	5.4	2.7
9月	1.0	9.0	7.3	13.7	5.5	2.9	6.3	5.0	1.2	0.9
10月	3.0	3.9	1.0	18.8	0.3	4.2	3.0	7.9	1.0	12.8
11月	6.7	5.2	9.5	9.1						

注 大型小売店売上 全国は既設店ベース、群馬は新設店を含むベース。10月の群馬の既設店ベースは2.1%。



島村洋子さん（旧姓・佐々木）の結婚を祝う中央総研のスタッフ

## 頌春

平成十六年

総研職員

新春メッセージ

### 「自主自立」の精神で

日本人の平均寿命が男女とも八十歳台の大台にせまる昨今ですが、同居の母も七十六歳になり、しっかり老人力が身につくまで、介護保険の恩恵に預りながら日々を過ごしております。またまた今年度以降、年金関係や消費税関係が怪しい雲行きです。われわれの老後は灰色の雲で覆われているようで、気分も暗くなりますが、日々の努力を怠らず「自主自立」の精神で生きていきたいと思います。

### 「心の大掃除」で心機一転

新年明けましておめでとうございます。旧年中はご厚情に感謝申し上げますと共に、今後一層のご厚誼をあらためてお願い申し上げます。さて、最近が多事に忙殺されるうち時があっという間に移ろい去り、季節を楽しむゆとりもありません。これではいけない、生活全般に活力と余裕を取り戻したいと切に思います。よし、それではリフレッシュ旅行にでも挑みましょう。心の大掃除をして心機一転、がんばります。

### お客様の喜びを糧にして

本年もよろしく願いをいたします。昨年忙しい日々を過ごしておりますが、そういった中でも心が和むひと時に出会う機会が少しずつ増えてきたなと感じています。それはお客様のお役に立て、喜びを感じていただいたことに他なりません。お客様の喜びを糧にして、日々新しい技術や知識を積み上げ、それをお客様に還元することが我々中央総研の営みであり、誇りです。今年もより一層、お客様に喜びを感じていただけるよう頑張っていきたいと思います。

### 道理を見据える年に

今年一年、皆様にとって幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年々、月日を重ねるごとに同じやり方では時間が足りなくなっております。やり過ぎは良い結果ばかり生れない、もう少し道理を見据えられる自分を創る年にしたいと感じています。

柴崎 千恵子

細川 修一

佐々木 譲

桜井 厚嗣

引き続きご愛顧のほど、お願い致します。

今年は「仁」と「義」を大事にして

中林 毅

「仁義」という言葉を耳にすると、任侠映画や寅さんを思い浮かべる方もいるかと思いますが、この言葉が体系化されたのは紀元前600年頃、孔子の時代までさかのぼります。「仁」とは内なる愛で、「義」とは外なる愛ということだそうです。

最近、忙しい気になっていて、お客様対しても、社内のものに対しても気を配ることができず「仁義」に欠けているのではないかと、思います。

今年は「仁義」を心がけて日々取り組んでいきます。

自分を知って「完走」

小田切 正樹

毎年元旦にマラソンをするようになって早三年、今となっては恒例の行事になってしまいました。常に「記録より完走」を目指して走っています。結果的に記録もついてきていますが、自分のペースを守るということは簡単そうで結構難しいことだと、毎回考えさせられます。無理をすれば体力が続かず、逆に力を抜けば後悔してしまうー。

何事においても自分を知り、前向きに取り組むことを意識して、本年もスタートを切りたいと思います。今年もよろしく申し上げます。

環境は自分で作る

島村 洋子（旧姓・佐々木）

最近、この今流れている時間を大切にしたいと、強く思うようになりました。

その中でいかに充実し、楽しい生活を送れるか、心がけひとつだと思います。自分のおかれた環境も自分で作っていくものだと。

昨年、結婚で住いも遠くなり環境も変わりましたが、そこは“心がけひとつ”です。環境を自分で作り、長い人生を思いっきり楽しんでいこうと思います。

これからも皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

「育児休暇」で充電中

大瀧 美裕紀（旧姓・村上）

昨年の8月、無事、男の子を出産しました。まだ4か月ちょっとの息子ですが、最近はいよいよ自分の意思を表示するようになり、一日一日の成長が楽しみでなりません。

子供に対する虐待のニュースが頻りに報道される昨今ですが、それを見るたびに胸が痛む思いです。どうしてこんなに可愛い我が子をそのようにすることができるのか、とても信じがたいことです。

私はまだ「育児休暇中」で皆さまにご迷惑をかけますが、もうしばらくは“育児専念”です。仕事に復帰したらまたよろしく願いいたします。

「頼られる存在」に

平方 聖子

昨年3月、中央総研に勤務して以来、早くも10か月が経過しました。

この10か月間、皆様に助けられ、支えられ、頼ってばかりの私でしたが、今年は“頼られる”存在になれるよう日々努力して行きたいと思います。

まだまだ一人前にはほど遠い私ですが、一日でも早く“一人前”になり、お客様の期待に添えるよう頑張りますので、今年もよろしく願いいたします。

法華経如来神力品

「悟りの経営」第一回と二回の概要

**心配の残る仕事はしない。喜びの残る仕事をする**

事業経営をしている限りはストレスやリスクから離れることはできない。しかし、ストレスのないところに進歩はなく、リスクのないところにはリターンはない。ストレスは進歩のエネルギーであり、リスクはリターンへの創造のスキルである。

仕事をやるからにはストレスもリスクも勘定に入れて、その原因を取り除きながら心配の残らない仕事をするのだ。

**金には色がある。善金と悪金がある**

善金は事業本来の創造活動の効果であり、悪金は事業から離れた金か、または非創造活動の効果である。善金は身を助け、事業本来の進化と向上に寄与するが、悪金は身を滅ぼし、やがては事業を滅ぼす。事業本来の創造活動(善因)によって得た収益は10倍の価値があり、ギャンプルや創造活動以外の悪因で儲けた10万円は1万円の価値しかないことを観念すべきだ。即ち、善因善金は掛け算、悪因悪金は割り算となることを悟ろう。

**とらわれない経営こそ事業発展、永続の原理である**

過去、現在、未来の経営にとらわれない。他社の経営にもとらわれない。自由自在に変化に対応していく。進化と向上と創造に集中し、その真っ只中で悠然と生きていくのだ。

**すべての価値基準は進化と向上と創造の中にあることを悟ろう**

鮭が遡上して種を残すように、人間がこの世に生れてきた意味は進化と向上と創造のためである。この三つには期間も、貧富も学歴も、性別も社長も社員もない。死ぬ直前までめいっぱいふくらませ、気合を入れていこう。

**経営における進化と向上と創造とは**

効率と能率の改善と向上	分配の改善と向上
付加価値の改善と向上	高品質への改善と向上
顧客の開拓と創造	財務体質の改善と向上
新商品の開発と創造	リスク改善と向上
事業構造の改善と向上	利益改善と向上
組織内部の改善と向上	

いかなる逆境の中でも勇気をもって、半歩でも一歩でも前進する。退却しない。金があっても無くても、進化と向上と創造の前には人はみな平等だ。

経営禅者としてこの世はいいものだとと言える為には七つのものがあるよここを悟ろう

- 一つは少々の金を産み出す泉
  - 二つは普通に暮らせる衣食住
  - 三つは理想と理念
  - 四つは戦略と戦術とチェック
  - 五つはこれらを成す為の智慧
  - 六つは胆力と覚悟力
  - 七つは禅定と気
- これだけあれば足りる。

この七つは怠けていたのでは得ることはできない。精進あるのみ。

さあ、この勇ましい気を煥発しよう。気合を入れていこう。苦しいことの多いがそれでもこの世はいいものだと。そのときが来たらあの人に召されればいい。それまでは強く強く本当に強く生きていければいい。ここを悟ることだ。

**生きるとは大変なことだ。ここを悟ろう**

この世は苦であるといった釈迦の言葉が身にしみることが多いが、同じく釈迦の遺言で、この世は美しい、甘美なものであるといった言葉も身にしみ。生きることは大変なことだ。苦勞の多いことだ。理屈ではない。

しかし生きることは美しい甘美なことだと思いつつ生きていくこと。これしかないのではないか。

さあ、この勇ましい気を煥発しよう。気合を入れていこう。苦しいことの多いがそれでもこの世はいいものだと。そのときが来たらあの人に召されればいい。それまでは強く強く本当に強く生きていければいい。ここを悟ることだ。

**金運金力のある大人とは次のような大人をいう。**

そして悟りの経営の悟りとは自分を金運金力のある大人につくり変えることである。ここを悟ろう

色々と調べて見たら事業経営に成功する者と失敗する者。年柄年中資金繰りに苦しんでいる者とそうでない者との差はその者に金運金力があるかそうでないかの差であることに行き着いた。老子の教えに学び自分を金運金力のある大人につくり変えよう

- 一つ 氷の張った川を渡るように慎重そのものである
- 二つ 四方の敵に備えるように用心深い
- 三つ 客として招かれたように泰然として構えている
- 四つ 氷が溶けていくようにこだわりがない
- 五つ 手を加えぬ原木のように飾り気がない
- 六つ 濁った水のように包容力に富んでいる
- 七つ 大自然の谷のように広々としている

一見ぼっとしているのがスキのない人。  
さしずめ、一休禅師か沢庵禅師、宿無し禅師といわれた沢木興道老師か、又は内山興正老師、昼行燈といわれた大石内蔵助又ははぐれ雲の主人公か。  
このように自分を変えていこう。さあ、この勇ましい気を煥発しよう。気合を入れていこう。苦しいことの多いがそれでもこの世はいいものだ。そのときが来たらばあの世に召されればいい。それまでは強く強く本当に強く生きていければいい。ここを悟ることだ。

### なにごと自分の心のなせる業

憎いと思うも、憎くないと思うも、嫉妬するも、嫉妬しないのも、怒ることも、怒らぬことも、悲しむことも、悲しまぬことも、みなみな自分の心のなせる業。  
なにごと自分の心の中の業。相手はなににも関係ない。自分の心の中にあって他人の心の中にあるのではない。ここを悟ればなんら怖れるものはない。

怖れの心は怖れるという怖れの心が心の中に生じるからである。

怖れる心が生じなければ恐れは生じない。

怖れる心を滅すれば怖れは滅する。

その心をコントロールできるかどうか問題である。

「シ-ンとした絶対寂静の心」「シ-ンとした絶対寂静の気」を練り上げていくことである。それは簡単なことだ。だが持続していくことが難しい。持続していくには何回も何度も繰り返し途絶えることなく練り直し、練り上げていくことだ。これが人生であり、経営であり、経営禅者の行である。

利益を出すのも、出さぬのも、経営計画を実現するのも、しないのも、己が心のなせる業。はてまた北風でいくか、太陽でいくか、戦略を選択し、策定するのも、戦術を実行し、それをチェックするのも己が心のなせる業だ。

### おおらかに生きよう

負けてよし、勝ってよし。如来如実の知見によれば勝った負けたはもともとない。おおらかに、おおらかに、ゆったりと、ゆったりと生きよう。

負けたら負けたでいいではないか、あきらめぬ。悔しがってもなんにもならぬ。勝ったら勝ったでいいではないか、率直に喜ばばよい。

なるようにしかならないのが人生だと観念し、おおらかに、ゆったりと生きていこう。春がきて、夏がきて、秋がきて、冬がきて、また春がくる。

風が吹いて、水が流れる。この自然の営みの中に己が人生を映し出していこう。「シ-ンとした絶対積極の気」をもって。

「悟りの経営」 完

## 中央総研の「職域五訓」

中央総研は、激動する経営環境の中で顧客の不安や苛立ちを払拭し、「安心立命や達成感」を得られるコンサルティングを目指して日夜研鑽を重ねています。

一口に「激動する経営環境」といっても、業種や業態によって問題点や克服すべき課題はさまざまであるだけに、中央総研に課せられた役割と責任、そして職員一人ひとりが顧客価値を生み出せるキャリアデザインの重要性を痛感しています。

そのため、このほど中央総研の理念や戦略を策定しましたが、その中で「職域五訓」を参考までに公開します。

- 1、我々は、職場を人生の道場として常に人格と技術を研鑽し、修行を積む。
- 2、我々は、職場を人生の道場として自他の幸福のため職場の規律を守る。
- 3、我々は、職場を人生の道場として自己の殻を破り、新たな可能性に挑戦する。
- 4、我々は、職場を人生の道場として常に自己の本性を見極め、不断に自己を充実する。
- 5、我々は、職場を人生の道場としていつも根性をかけて、与えられた責任を完遂する。

【編集後記】新春号は遅まきですが日銀短観の概要を解説しました。「業種別一覧表」をみますと、大企業のマイナスは3業種に対して、中小企業のマイナスは11業種に及び、落差も大です。

新年度の政府施策をみますと国民に新たな負担を求めるものが多く、これでは景気最大エンジン、「個人消費」がフル稼働しそうにありません。

発行日 2004年1月1日  
発行者 株式会社中央税法総合研究所  
代表者 茂木健次  
所在地 前橋市本町1-4-4  
損保ジャパンビル 6F  
代表 027-243-4747